

自然生かし苦東活用 辻井達一さんから提言

苦小牧

【苦小牧】工業地域
の苦小牧東部地域に残
る自然の保全や活用を
目指す環境フォーラム
「苦東環境コモンズが
目指すもの」(環境コ
モンズ研究会、NPO

法人苦東環境コモンズ
設立準備事務局主催)
が19日、苦小牧市のサ
ンガーデンで開かれ、
開発計画が行き詰まっ
た苦東の新たな再生の
道を探った。



苦東は多くの野鳥が
生息する勇払原野にあ
り、残された緑地の保
全と活用を推進する
ため、苦小牧の環境事
業関係者らがNPO法

苦東の位置する勇払原野
の自然について講演した
道環境財団の辻井理事長

人を年内に立ち上げ、
フットパスの整備や雑
木の除間伐に取り組
む予定。フォーラムは
その活動の一環として
開かれた。
約90人が参加したフ

「オーラムでは、環境コ
モンズ研究会座長の小
磯修二・釧公大学長が
苦東の現状を報告し、
「豊かな自然の中で研
究や企業活動をしたい
という考え方もあり、
苦東の新しい価値とな
る」と強調した。
また、道環境財団の
辻井達一理事長が「勇
払原野を楽しむ方法」
と題して講演し、「ハ
スカップなどの恵みが
ある勇払原野を広く見
れば、カヌーのできる
川、サーフィンの名所、
ホーストレッキングで
きる施設もあり、連携
することで苦東はもっ
と楽しくなる」と語っ
た。(門馬羊次)